

年間テーマ：『共有・共感・共振・共鳴』～成長はみんなのために～



被爆ピアノが訴えるものとは

今年には戦後80年の年となります。本社のある横浜でも、1945年5月29日に横浜大空襲があり、約1時間にわたって総数43万8000個余り(2569トン)の大量の焼夷弾を、地上に投下しました。中区・南区・西区・神奈川区を中心に、横浜の市街地は火に包まれ死者3650人とされましが、実際には8,000人以上になるともいわれています。写真は、広島で原爆が投下され、火の海になった中、何とか被災したものの、何とか生き残って、今でも調律をし全国を飛び回っている被爆ピアノです。

被爆ピアノの音色を耳にすると、それだけでいろいろな感情を呼び起こします。戦後80年が経過し、私たち多くの日本人が戦争を知らない世代となってきましたが、今ある暮らしは果たして当たり前のものなのでしょうか？東アジアでもいつても戦争が起きてもおかしくない状態が続いています。これは、国家レベルでもありますが、私たち一人ひとり日々の暮らしや、仕事においてはどうか？ちょっととしたすれ違いやコミュニケーションの微妙なずれでぎくしゃくしてはいないでしょうか？

一日一日、毎日をいい一日にしていくなかにはどうすればいいでしょうか？
「明るく仲良く元気よく大変な時こそ笑顔で吹き飛ばしていきましよう」これが昨年度から続くスローガンです。
これから一気に暑くなってきましたので、気持ちよく仕事をするために、是非心がけておいて頂きたいと思えます。
今日生きたくても生きれなかった人のためにも日々全力で過ごしてまいりましょう。
代表取締役社長 川口 大治

継続は力なり！努力の積み重ね

人はそれぞれ様々な習慣をもっています。中には、ある環境下では必然でもありますが、別の場所では「良くない習慣」であることもあります。どの職場においても、良い習慣と悪い習慣が混在しているのが実情ではないでしょうか。今まで染みついてきた習慣を変えて、新しい習慣を取り入れていくポイントは、「意識」とにかく続けることだと思います。でも、この続けることが実は難しいことです。日によってやりにくいなと思ったり、体調が悪かったりすると崩壊的にやらなくなってしまうことが多いと思います。でも、たとえ一日休んでも三日休んでも、また続ける事が大切です。続ける事によって体がそれをやることに慣れていき、やる事が自然な状態になっていきます。例えば、新しい仕事を始めたとき、最初はうまくできなくても、毎日やっていくうちに慣れていき、やり方を確認しなくても勝手に上手に体が動くようになっていきます。それと同じように、新しい習慣を身につける時でも、毎日続ける事が大切だと思えます。毎日続けることは自己管理能力を高める事にも繋がります。生活だけでなく、プライベートの生活にもプラスの影響をもたらします。外部変化の激しい現代において、変化に即した柔軟な対応と、意識的な努力が求められます。自分自身が求めているものと、取り入れる努力をしてみてください。



まずは、 動こう。

B M 事業部 鈴木

職場紹介（関東事業部・聖ヨゼフ病院）

今回は関東事業部・ニッケコルトンプラザとB.M.事業部聖ヨゼフ病院をご紹介させていただきます。

関東事業部は市川市本八幡駅徒歩8分にあり地域の皆さんの憩いの場として、買い物のお拠点として親しまれています。原田さんが責任者として社員4名、スタッフの方々総勢55名でコルトンプラザと隣接するあすも市川（老人ホーム）と秋葉原の2k540・SEKBASE（高架下ショッピングモール）を担当し清掃作業を行っています。大所帯で大変ですがお互い様精神を発揮しチームワークで日々頑張っています。1988年開業、イオンモールやららぽーとと同じく大規模ショッピングモールです。是非お立ち寄り下さい。

聖ヨゼフ病院はキリスト教の精神に基づき生命の尊厳を守る良質な施設で温かい医療を提供する総合病院です。横須賀中央駅、汐入駅から徒歩数分と便が良く、通勤が便利な現場です。村田さんが責任者として総勢14名が在籍し、安全第一をモットーに皆で協力しながら毎日元気に頑張ってくれています。早朝は外来を、日中は主に病棟を清掃。利用される患者さんや医療行為の邪魔にならないよう配慮して作業をしています。

◇コルトンプラザ ◇関東事業部控室 ◇聖ヨゼフ病院



第45回社内木鶏会

5月のテーマは「磨すれども磷がず」です。本心に堅いものはいくら磨いても薄くならないという意味で、真の志を持っていてはどんな抵抗障害にあっても、その志は薄くならないとの意。表紙の方は伊那食品工業創業者の塚越寛さんで年輪経営を軸足に、売上利益を問わず社員の幸せを目的として樹木年輪のように一年に一本年輪を刻む経営で毎年業績が伸び続け年間230億の売上を上げられています。売上目標も利益目標もなく働く社員が幸せなら好循環が自然に生まれ業績に繋がるとの考えで経営を実践されているとのこと。



塚越さんの人生体験から、たとえどん底に落ちたとしても決して人生悲観することはない。ここからが出发点と頭を切り換え自暴自棄にならないこと。一気に何かをなそうとせず末広がりによくなっていく地道な努力を重ね、そのため種まきを怠らないことだと思えますとのメッセージです。理解しつつも幾年も継続するのは大変です。

事業統括 津幡哲也

猛暑への備え

5月に入り、徐々に夏の暑さを思わせる気候になりました。6月1日から職場における熱中症対策が義務化されますが、少人数の現場も多数あり、目が届きにくい事もあります。会社の指示ばかりに頼らず、日頃から適度な水分補給や直射日光を避けるなど自発的な対策も大切です。熱中症を効果的に予防して暑い夏を元気に乗り切りましょう。

管理事業部 齋藤

無災害記録 128日（5月20日現在）

5月に誕生日を迎えられた皆様です

お誕生日おめでとうございます
素敵なお誕生日をお迎えてください。

◇編集後記

5月は一年を通じて最も快適な時期、季節と感じる方は多いと思います。風薫る新緑の季節です。散歩も旅にでも好きな食歩歩きでも好きなことに時間を使い、英気を養って下さい。